

議会だより

平成21年2月6日
発行／大分県国東市議会
編集／議会広報編集特別委員会
TEL (0978) 72-5196
FAX (0978) 72-5170



地域ふれあい餅つき大会（社会福祉法人 伊美保育園）

12月定例会

**市民病院への整形外科医師の派遣を
求める決議を可決** 2～3

議案質疑 4～5

6人が登壇 一般質問 市政を問う 6～11

常任委員会報告 12～14

12月定例会

会期は12月8日から19日までの12日間、
議案30件. 承認1件. 諮問1件など承認、可決。

『市民病院への整形外科医師の派遣を求める決議』を可決！

市民病院は昨年10月に整形外科が、医師の退職により診療休止となっております。このことは、市民の日常生活に直結した診療が危うい状態と言っても過言ではありません。

市議会としても、一日も早く市民病院での整形外科の診療再開を強く望むものであり、全員一致で可決しました。

そして、去る12月24日に諸富議長、野田市長、木戸区長会長が、大分大学医学部を訪れ、整形外科医師の派遣をそれぞれ要望しました。

12月補正予算決まる！

一般会計補正予算額 3億2,678万円
総額 197億4,170万円

【歳出の主なもの】

- ・ ファクシミリ購入費（郵便局での窓口証明事務用） 2,481万円
- ・ 小学校耐震診断委託料 △ 944万円
- ・ 統合中学校改修工事等 2,384万円
- ・ 統合中学校備品購入費 4,671万円
- ・ 基金積立金 2億4,460万円



改修中の新国東中学校（旧国東高校）

みなさんからの 請願

12月定例会に請願2件が採択されました。

- 現行保育制度の堅持を求める請願書
- 「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米（ミニマムアクセス米）の輸入中止を求める請願

特別会計補正予算額

国民健康保険	3,	249万円
介護保険事業	4,	628万円
介護サービス	1,	340万円
後期高齢者医療		321万円
簡易水道	1,	004万円
公共下水道	1,	102万円
特定環境保全	△5,	305万円
市民病院（収益的）		696万円
（資本的）	△3	14万円

意見書

（内閣総理大臣等に提出しました。）

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- 現行保育制度の堅持を求める意見書
- 汚染米の転用問題と外米輸入に関する意見書

主な議案の内容

いこいの村国東設置及び管理条例の制定

いこいの村国東に指定管理者制度を導入するため、条例を整備するものです。

本件は、産業建設委員会の審査を経て本会議で可決しました。

国東市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の制定

市民病院に地方公営企業法を全部適用することに伴い、特別職の管理者を設置するため、管理者の給与、旅費に関して条例で定めるものです。

本件は、厚生委員会の審査を経て本会議で可決しました。

国東市病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定

市民病院に地方公営企業法を全部適用することに伴い、職員の給与の種類及び基準を定めるものです。

本件は、厚生委員会の審査を経て本会議で可決しました。

国東市税条例の一部改正

個人住民税及び固定資産税の納期前納付にかかる報奨金制度を廃止するものです。

本件は、総務委員会の審査を経て本会議で可決しました。

国東市簡易水道事業条例の一部改正

使用者負担を公平なものとするため、旧町単位で異なる水道料金の統一を図るための改正です。

本件は、産業建設委員会の審査を経て本会議で可決しました。

国東市農業集落排水施設条例の一部改正

国東市公共下水道条例の一部改正

使用者負担を公平なものとするため、旧町単位で異なる下水道料金の統一を図るための改正です。

国東市特定環境保全公共下水道条例の一部改正

本件は、産業建設委員会の審査を経て本会議で可決しました。

国東市の特定の事務を取り扱うせる郵便局の指定等について

4月から市の窓口証明事務を市内の11郵便局を指定して取り扱わせるものです。(竹田津、熊毛、来浦、富来、上国崎、豊崎、旭日、中武蔵、両子、朝来、安岐港郵便局の11郵便局です。)

本件は、総務委員会の審査を経て本会議で可決しました。

権利の放棄及び和解について

医療法人功尚会に対して請求した居宅介護サービス計画費の返還金及びこれに係る加算金に

関し、権利を放棄するとともに同医療法人と和解するものです。

本件は、厚生委員会の審査を経て本会議で可決しました。

財産の処分について

養護老人ホーム松寿園と特別養護老人ホームむさし苑の敷地を、社会福祉法人安岐の郷に譲渡金額2億4千万円で有償譲渡するものです。

本件は、総務委員会の審査を経て本会議で可決しました。

人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員の候補者の推薦について、次の方が適任とされました。

安岐町 河野 忠義 氏

平成20年第3回臨時会

第3回臨時会が10月31日に開催され、議案4件可決されました。

国東市サイクリングターミナル条例の一部改正

サイクリングターミナルについて、指定管理者制度を導入するため、条例の一部改正をするものです。

本件は、本会議で可決しました。

工事請負契約の締結について

平成20年度ケーブルテレビ施設整備工事を、指名競争入札により、次のとおり契約するものです。

○契約金額 341,833,800円

○契約の相手 富士通株式会社

本件は、本会議で可決しました。

議案質疑

12月定例会

★一般会計補正予算について

Q、42万円のシステム開発費委託料と62万円の庁車購入費の内容について。

A、システム開発費は、平成21年度より窓口証明事務を郵便局に委託するための初期導入費であり、庁車購入費については、市長車を更新するものです。

Q、市長車の予算が高すぎるのではないか。

A、現在の車は平成7年登録で走行距離が約20万kmになり修理が多いため買い替えであり、環境と安全性を配慮した車にしています。

Q、県営危険ため池整備事業計画資料作成委託料と学校管理費耐震診断委託料がゼロになっている理由は。

A、ため池整備事業計画資料作成委託料は、今年度計画して

いた2箇所（国見町と安岐町）とも地元分担金の同意がまとまらず事業年度が延長したため。耐震診断委託料は、地震防災対策特別措置法の成立後、耐震調査業者の受注件数が増加したことによる業者の対応の遅れから、調査期間が本年度末もしくは来年度当初になり、本年度中に支払債務が発生することがなくなったためです。

Q、保健衛生費備品購入費のトレーニング機器購入費が約半分に減額された理由は。

A、アンケートをとった結果、最初購入を予定していたレッグプレスから要望が多かったウォーキングマシンに変更したためです。

Q、中学校費の中の①設計監理

業務②耐震診断③耐震補強設計のそれぞれの委託料が入札の確定のみで大幅な減額となっているのか、他に要因はなかったのか。

A、①は、建設課の職員と一級建築士の嘱託を雇用して管理することにしたため、②は、当初、エレベーター施設の増設に体育館や校舎等の耐震診断が必要でしたが、このエレベーター施設を設計変更することで、それらの耐震診断を省くことができたためです。

③は純粹に入札結果のみです。

Q、統合中学校の備品購入費の多額の予算について。

A、昨年の安岐の統合小学校においては、建設費の中に備え付けの備品等がありました。それが比べると国東の統合4中学校は新設ではないので、施設系の備品等が多くなっているためです。

Q、大分県後期高齢者医療広域連合職員派遣分負担金・特別対策負担金の補正は当初想定

できないものだったのか。

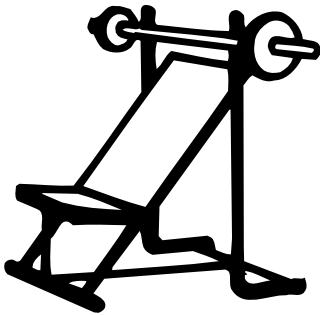
A、職員派遣分負担金は次年度検討して改めたいと思います。特別対策負担金は、保険証の発行を本庁だけでなく各総合支所からもできるように、その3カ所に機器を設置する費用です。

Q、中学校費の役務費の草刈剪定作業手数料など、旧国東高校跡地の管理について。

A、国東高校跡地の松の木などの剪定は、シルバー人材センターやボランティアの方々にお願いしてなるべく今の予算内でやっついこうと考えています。駐車場については市は買い上げが無理なので同窓会の方々と相談して無料で貸していただけのような方法をとるつもりです。

Q、国東中学校統合に伴う通学路の防犯灯設置工事147万円の内容とその電気代の支払いについて。

A、内容は9本の電柱と45基の照明器具になります。これは通学路の防犯灯なので、その



維持管理は市のほうで行います。他の防犯灯・街灯については、合併後、担当者で協議してその維持管理を市と行政区で区別する基準を4町で統一しています。

Q、公有財産購入費の土地購入費50万円は、両子河原座の浄化槽の一部が含まれている国有地の買い取りとなっているが、その面積はどれくらいなのか。

A、 買い取る面積は133㎡ですが他の駐車場並びに周辺の土地については現在も県の管理です。

Q、幼稚園の損害賠償金15万円の内容について。

A、 治療費、入院費、交通費であり、慰謝料等については代理人を立てて協議中です。

Q、社会教育指導員報酬が300万円減額の理由は。

A、 本年度は安岐・武蔵町で、それぞれ一名ずつ指導員が臨時職員になったためです。

★国東市民病院について

Q、財産管理費工事請負費の360万円の補正は、鶴川庁舎の解体工事のみなのか。

A、 鶴川庁舎の南側が大分交通の土地なので、そこに建っている建物を撤去し、返却するための費用です。

Q、議案第111号から114号までは、国東市民病院を4月から全部適用にするための議案であるが、市から病院への職員3人の異動など全適に移行する準備が少し早急すぎないか。

A、 3名の職員は全適のためでなくただの人事異動ですが、全適移行に決めたので責任を持っていただくには区切りをつけることが大事だと思っております。

★国東市立学校設置条例の一部改正について

Q、上国崎小学校は児童数の減により国東小学校と統合することとなったが、これからこのようなケースが起り得る

のかどうか、またそういうケースが出た場合に方針が定まっているのか。

A、 生徒数が一桁になる学校は将来的に発生し得るので、昨年の2月に立ち上げた学校教育審議会で審議しており、そろそろ最終審議が終了して最終答申が出るので、教育委員会としての方向付けをしていくつもりです。

★国東市の特定の事務を取り扱わせる郵便局等の指定について

Q、この郵便局の事務の取り扱いについて、住民の方にきちんと説明しているのか。

A、 郵便局での窓口証明事務、出張所の問題等については、4地区で説明会を予定しています。

★財産処分について

Q、譲渡金額が2億4千万円になっているが、この内訳は。

A、 2億4千万円のうち、むさし苑が1億7、095万8千

円で、残りが松寿園になります。

(市民病院が全部適用になれば)

(1) 管理者の設置

- ・管理者は、業務執行権及び代表権（予算の調整等を除く）を有する。
- ・管理者の担当事務

①内部組織の設置、②職員の任免・給与等の身分取り扱い、③予算の原案・説明書の作成、④資産の取得・管理・処分、⑤契約の締結、⑥労働協約の締結など

- ・管理者は、業務に関する管理規定の制定権を有する。

(2) 職員の身分取扱

- ・地方公営企業労働関係法の定めにより、労働組合の結成、団体交渉、労働協約の締結等が認められる。
- ・給与、勤務時間その他の勤務条件は、法律及び条例に基づき、労働協約を経て管理者が決定する。



宮永 英次 議員

当初予算に市長ビジョンを

どう反映させるか

―行財政改革を基本として編成―

り、担当職員の努力はうかがえます。

議員 今後、徴収体制の強化を図る必要があると考えるか。

総務部長 大分県から県税事務所係長級職員の派遣をお願いし、悪質事案について対応していきます。

○教育について

議員 学校図書館の整備について、年次計画の中身と当初予算への反映の仕方は。

教育次長 1週間に1回の巡回が可能になり、学校現場から喜ばれています。司書の増員については財政事情等厳しいので、なかなか難しいが、パソコンを使った貸し出し等の処理については進める方向です。

議員 全国学力テストの結果公

表について市の考えは。

教育長 国東市教育委員会に諮り検討します。

議員 統合された学校にある書や絵画、校旗等の保管処理は。

教育次長 旧小学校の書や絵画校旗については安岐中央小学校に大部分保管しています。

旧朝来小学校の一部は旧朝来小学校に記念室をつくり展示をしています。国東町の4中学校の物品については、新統合中学校に保管したいと思いません。

○環境問題について

議員 マイバグ運動に行政の積極的な推進を。

生活福祉部長 マイバグ運動の効果や地球温暖化防止などの情報を市民に提供し、意識の向上を積極的に図っていきたいと考えています。

議員 公共施設に太陽光発電設置の考えは。

総務部長 今後検討していく必要はあるかと考えています。

○市政について

議員 一次産業、観光、若者が残る元気なまちづくり等、希望を抱かせる具体的な政策を提示すべきでは。

企画部長 小規模集落対策として、集落の実情に応じた維持活性化対策を県と市が一緒になって集落に入り込み検討しています。また、集落支援員の制度を検討しており、NPO法人や近隣杵築市などの協働を進め、商工会や観光協会、企業などの連携で元気なまちづくりを推進していきます。

議員 税等の滞納について、市の徴収体制が甘かったと認識反省しているか。

総務部長 徴収率は向上してお



綾部 敦 議員

豊後青筵せいえんのブランド化

―生産効率を図り、

伝統を守ることが大事―

○青筵せいえんのブランド化に向けての取り組みは

議員 国東青筵せいえんは、地域を育んできた30年の歴史を持ち、文化的工芸遺産となっています。これに労働力に見合うような付加価値をつけ、伝統的な国東地方の品目としてブランド化し、ホームページなどで紹介できないか。そして全国の柔道場に使っていただくための宣伝をしたり、地産地消を住民に啓発し、国東市の公営アパートに使用するなど、地域産業として推進する考えはないか。

市長 現実に国東の七島イはブランド化されています。七島

イの需要は、ほぼ満杯だと流通の間では認識されています。公営住宅に使っていく方法は有効だと思います。七島イの需要が全国で3億円という非常に小さな市場です。高齢化の中で生産効率を図りながら伝統を守っていくことが大事だと考えています。

○地球環境を守る宣言都市を

議員 地球環境を守る宣言都市という壮大なテーマですが地球温暖化に対する地域住民の意識の啓発が主たる目的です。大事なことは、地球環境の破壊が目前に迫りつつあるという意識を持って自らの意識を

改革することにあります。行政はこうした環境問題にも積極的に取り組み、住民の意識の啓発に努力し、集会や行政文書などを通じ地球温暖化への影響がいかに人類にとって怖いことであるのか、情報の共有を進めることによって効果が期待できるのではないか。

市長 地球温暖化対策の環境を守る宣言都市に向けての提言

ですが、全くその通りです。県で温暖化フォーラムが開かれ、その中で放映されたビデオを取り寄せており、市民の皆様幅広く見ていただき啓発運動を進めていきます。地道に啓発運動を重ねて体制を

整えながら次代に地球を残す対策をとっていきたいと考えています。来年4月から組織を立ち上げ対応を図っていくことに決めています。



(特産品の七島イ)



白石 徳明 議員

市民病院の医師確保の見通しは

— 厳しい状況であり、一層の努力を

続けたいと考えています —

行くようにしています。

想されるが現状のままで大丈夫なのか。

消防長 管内には4台の救急車を配備し対応していますが、

現在のところ救急事案が重複した場合でも、救急出動には支障を来たした事案はありません。

○市民病院の全部適用について

議員 管理者を設置するように

なるがどのように考えているのか。

市長 管理者については舂井現

院長を予定しており、管理者に相応しいと考えています。

今後の病院経営については、

地元医師会との医療連携の充実、医師確保と関係機関との

一層の信頼関係の構築を期待しており市も市民も側面より

病院をサポートしていきたいと考えています。

議員 救急患者が重なった場合

救急車が足りないケースが予

○市民病院の医療体制について

議員 医師確保に向けた病院側

と市の取り組みは。

院長 小児科医師に関しては、

現在勤務している県派遣の小児科医師またはその後任が来

年度も派遣されるかどうかは正式に決定していません。整

形外科の再開については非常に厳しい状況であり、大学に

頼るのみでなく、病院独自でも医師確保に努力を続けたい

と考えています。

市長 市の対応としては、あら

ゆる知恵を結集して医師確保に動いており今月中にも整形

外科の教授のもとにお願いに

○梅園の里について

議員 現在の経営状況と来年4

月以降の指定管理者について。

教育次長 非常に安定した経営

が出来ていると認識しています。来年度の管理者について

は、任意指定をすることにより対応したいと考えています。



(国東市民病院)



丸小野 宣康 議員

○ヒノキの皮むき防止対策について

議員 シカによる農林産物への被害は大変深刻な問題でありヒノキは全滅の恐れがあると思われる。ヒノキの皮むき防止対策として防護ネット設置事業の推進を実施できないか。

市長 森林の荒廃は環境問題に加え、林業に携わる方々にとっても喫緊の問題だと認識しております。ヒノキ、スギの対策につきましては一市では補助金等は困難なので、国や県に提示をし、一緒に対策を立てていくつもりです。

産業商工部長 対策の一つは、有害鳥獣の捕獲事業で、市の

ヒノキ林の保護管理はどうするのか

―防護ネットの設置をしていく―

猟友会に依頼して前年比1.7倍51頭のシカを捕獲しています。10月には猟友会・森林組合・

椎茸組合・農業共済・農協・国東市で鳥獣被害対策協議会

を設立し、鳥獣被害総合対策事業費200万の国庫補助金を受け、

箱わな20基、くくりわな125基を設置し対策を補強するつもりです。2つ目は、防護

柵の設置等です。19年度17件3、290枚を設置しております

ますが、10アール当たり50本の優良木に対する防護ネット

設置につきましては、今後関係機関と協議しながら県費3

分の1、市費3分の1のシカ被害防止対策事業の導入、実

施に向けて検討していきたいと思っております。



(シカ防護ネット設置状況)



堤 康二郎 議員

小中学校の今後の教育環境について

—望ましい教育環境を目指して

国東市学校教育審議会を設置—

時点では問題はないと認識しております。

議員 今年度の住民健診の結果と問題点は。

生活福祉部長 特定健診の受診

率は、特定健康診査実施計画の本年度の目標値の47%を上回り、またがん検診の受診者も増加しています。今後課題として、総合健診化により受診場所が遠くなり不便との声もあり、次年度は、日程や場所及びバスの利活用も合わせまして、今後検討していきたいと考えています。

○複式学級の現状について

議員 国東市内に15ある小学校のうち、約半数が複式学級となっている現状をどのように考えているのか。また、1学年30から40人の学級を市独自で2クラスにできないのか。

教育長

国や県の措置が不十分な面は、市が独自で教員を雇用するとなると、予算面で困難さを感じていますが、今後この複式学級解消と30人以下学級に関わる教員確保につきましては、市の財政部局等に要望していきます。

○新国東中学校について

議員 新国東中学校の通学路の危険箇所の把握と対応は。

市長

統合中学校の安全上の問題として信号機の設置をお願いしていて、3月中旬までに設置が決まりました。

教育次長

地元説明会でのご意見・要望等を基に、生徒の登下校の安全を確保という観点から防犯灯の設置等を行っていく予定です。

○保健の予防に対する取り組みについて

議員

この時期のインフルエンザやはしか等予防接種の現状はどうなっているか。

生活福祉部長

インフルエンザ

平成21年度小学校児童・学級数予測

学校名	全学年計	
	児童数	学級数
竹田津小	44	5
伊美小	94	6
熊毛小	49	5
来浦小	34	4
富来小	112	6
大恩小	22	3
豊崎小	27	4
国東小	268	10
小原小	60	5
旭日小	63	6
武蔵東小	221	8
武蔵西小	46	5
安岐中央小	235	9
安岐小	258	8
合計	1,533	84



溝部 元生 議員

総合支所機能の低下は

―グループ制導入で対応―

○総合支所機能の低下

議員 総合支所機能が低下してきているのでは。

市長 今年の人事異動で大幅な人事交流を図り、試行錯誤を繰り返しながら早い時期に安定した体制を作り、市民に不便をかけないように取り組んでいます。

総務部長 本庁と総合支所機能体制につきましては、来年度グループ制を取り入れ、市民からの多様なニーズに対応できる体制を計画いたしております。

○地域に合った総合支所

運営を

議員 総合支所単位に地域性を生かし、特色あるまちづくりを推進しては。

市長 旧町毎に特徴ある地域産業、地域力の向上を図っていかねばなりません。市民の皆様と行政が協働してやらなければと考えております。

○商工会の合併

議員 商工会合併も大詰めを迎えておりますが、現段階では武蔵町は同調できないし、安岐町も厳しいと聞いている。

市長の考えを聞きたい。

市長 この問題には、私の立場からはお答えできません。内部調整等は各商工会が率先し

てやっていたいただき、なるべく早い時期に意志の疎通を図りながら、合併を進めていただきたいと、私のほうからお願いをいたします。

○武蔵町のイルミネーション

廃止とは

議員 武蔵では「ふるさと創生資金」で他にないイルミネーション設置により、若者定住・地域の特色を生かしたまちづくりをやってきたが、行革の一環で来年からなくなると聞いているが、相談もなく廃止するのか。

市長 拙速はまずいということですが、あまり急ぐようなつもりはありません。ただ、選択と集中というのは、これは絶対

に必要であります。地元の方のお考えを聞き、相談しながらやっていきたいと考えております。

○市民病院の存続を

議員 国東市民病院は必ず地域の中核病院として機能を果たしていただきたいし、立派な中核病院として残していただきたい。

市長 病院の件は、非常に厳しい状況であることは間違いありませんが、4月1日から全適ということ、院長も一生懸命取り組んでまいりますので、市民、開業医の皆さん、行政ともども協力して存続を図っていききたいと考えております。

委員会レポート

総務委員会

委員長 丸小野 宣康

市長車の更新については、より安い価格で購入を。

12月定例会において審査を付託された、議案7件について12月16日に総務委員会を開催し、担当職員の出席を求め付託された議案について慎重審議いたしました。

特に、議案第103号の「平成20年度国東市一般会計補正予算（第5号）」中、市長車購入の件については、走行距離は20万キロで購入より13年も経過しており度重なる故障のため、買い替えについては何ら問題はないが、当委員会全員の意見として、行財政改革・市職員の給与カット・市民への補助金カット、また、誘致企業の業績悪化による税収の落ち込みも予想され市としても大変厳しい状況下にあるので、ハイグレード車の購入計画であるがグレードの変更や購入方法の改善をして戴きたいとの要望を行った結果、執行部よりスタンダードクラスに変更し安価での購入に努力すると言う

事であり、可決する事といたしました。

また、議案第128号「国東市の特定の事務を取り扱わせる郵便局指定について」は、行財政改革の推進並びに特定郵便局の存続等を考えれば妥当でありますが、地域によっては大変不便になる地域が出てくるということ、執行部としては、地域の実情に合わせ柔軟に対応するとの回答がありました。

結果といたしましては、議案7件については全て原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



委員会開催前に、国東消防署安岐出張所と武蔵出張所を視察しました。

文教委員会

委員長 堀田 一則

12月定例会において審査を付託された、議案3件について12月17日に文教委員会を開催し、教

育長、関係部課長の出席を求め付託された議案について慎重審議いたしました。

結果としましては、「平成20年度国東市一般会計補正予算（第5号）の関係部分」、「国東市立学校設置条例の一部改正について」「国東市立幼稚園設置条例の一部改正について」は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

厚生委員会

委員長 唯有 幸明

12月定例会において、厚生委員会に審査を付託されました、議案12件、請願1件について、去る、12月17日当委員会を開催し、執行部から説明員の出席を求め慎重に審査いたしました。

経過につきましては、予算議案5件については歳入・歳出の款ごとの細部にわたる説明、条例改正議案6件は全部改正及び一部改正をすることの根拠、その他議案1件については和解に至った状況などの説明を受け、今後の行政執行にどのような効果・影響を及ぼすのか主眼にして審査を行いました。

討論においては、12議案の討論者はありませんでした。採決については、議案第103号

「平成20年度国東市一般会計補正予算（第5号）の関係部分」から、議案第132号「国東市国民健康保険条例の一部改正」まで、12議案はいずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、請願についてですが、請願第6号「現行保育制度の堅持を求める請願書」以上の1件は、採択すべきものと決定いたしました。

また、12月議会中に社会福祉法人である民間の保育園を視察しました。同じ市内でありながら中心部から遠ざかるにつれ「少子化」「格差」という言葉を実感として感じざるを得ない現実に打ちのめされたのも事実であります。

ある園では、来年の入園予定者が定員の半数に満たない予定であり、園長は「それでなくても財政的に窮しており、職員の給与やボーナスのカットを余儀なくされる場面が出てくるかも知れない。社会的責任だけで運営するにも限度を感じます。」との訴えに返す言葉さえありませんでした。

行政に携わる者の一人として、どういふ政策、どういふ支援が可能か、早急且つ真剣に考えなければならぬという思いを強く感じました。

産業建設委員会

委員長 吉松 京一

12月定例会において審査を付託された、議案13件、請願1件について、12月16日に委員会を開催し、関係部課長の出席を求め慎重審議いたしました。

特に、議案第130号の「建設工事委託に関する協定について」は、全委員から意見が出され十分に議論をし、内容についても協議を重ねた結果、意見一致をみました。

また、水道料金についても、旧町ごとに料金が違っていたのですが、合併後の協議ということで決定していたので調整がスムーズに出来たと思っています。

結果といたしましては、議案第103号「平成20年度一般会計補正予算（第5号）の関係部分」ほか12件、請願1件については全て原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



委員会視察報告

文教委員会

委員長 堀田 一則

去る11月4日から6日までの3日間、都会の子供を田舎の学校に留学させる「山村留学」の勉強をしたく島根県太田市と山口県岩国市にある市営の「山村留学センター」に視察に行ってきました。

この「山村留学」は今から約30年前に農山漁村の自然と文化と人情を活用した「次世代を担う人づくり事業」です。山村留学する子供たちは一時的に親元を離れて農山漁村の学校へ転入し、農家や寮などで生活しながら小中学校へ通います。現在では「教育実践活動」はもちろんのこと「過疎地域における零細校対策（学校存続のためや複式学級解消）」としての取り組みが盛んとなり、やがて全国の自治体から注目を集め今や25もの小中学校で述べ9129人の子供達が山村留学を経験しております。

特に島根県太田市は日本で14番目に世界遺産に登録された石見銀山があり、国東市と同じく山と海があり留学している子供達にとっては両方の自然の宝物を育むことのできる貴重な教育

財産が豊富な所です。山村留学センターは過疎債等の補助金を利用して市が建てた寮のようなもので市の教育委員会の職員が管理人として同居しており子供達は月の2/3をセンターで残りの1/3は農家で生活しながら通学しています。

顔色も青白く引きこもりや登校拒否の子供達も自然の中で鍛えられ体中が真っ黒となり規則的な生活の中にも素朴な人の人情を知り、思ったことが積極的になつたと言います。また、第二の故郷として卒業してからも度々訪れたり、そのまま地元の高校へと通い地元で就職する人もいます。

また山口県岩国市では山の上にポツンと隔離されたような村の中の学校で、生徒数の半分は留学生だそうです。それにより廃校も複式学級もまぬがれており、転入生たちはその豊富な自然の中で集団生活をする事によって今まで都会の家ではできなかった兄弟ゲンカやおやつを分け合ったり我慢することを覚えたり、親元から遠く離れることによつて親の有難さが心の底から実感できたりと、そして何よりも共に学んでいくうちに地元の子供達が不足がちな「競争心」や「向上心」が湧き一緒になつて伸びてゆき、地元の行

事やお祭り等にも積極的に参加したりと見るからに村全体が活気づき、そんなことから地元の生徒や住民達は毎年転入してくる留学生たちを大変楽しみに待ち望んでいるそうです。

我々は今回の視察で学んだことを実践へと結びつけるべく民家はもちろんのこと廃校となつた学校や各地区のお寺を利用したりして何とかお金をかけずに国東半島らしい受け入れができないものかと検討に入っています。そして一刻も早く国東市の学校から複式学級を持った教室を無くし、統廃合を食い止めると同時にこれ以上地域から学校を失くさないよう最後まで諦めずに努力すべきと今回の視察で勇気づけられました。



厚生委員会

委員長 唯有 幸明

厚生委員会は、去る11月12、13日の2日間にわたり、兵庫県「小野市」と「養父市」を行政視察で訪問しました。

小野市では、子育て支援として、乳幼児医療費の完全無料化を小学校6年生まで延長して実施しているほか、地域の中での育児支援策や、幼稚園・小学校に防犯警備員を配置するなど安心して子育てができる環境が整備され、少子化対策に効果があると実感しました。

次に、テレビで紹介された養父市の公立八鹿病院（病床数420床）を訪問しました。

この病院は、早くから移動検診車を所有し、点在する集落を



回り病気の早期発見、早期治療に努めています。また、看護師を活用した訪問看護チームによる在宅治療を推進することにより、入院患者を早く家に帰すことが可能となり、自宅復帰率が8割と大変高い率になっていました。また、医療が細分化されている中、何でも診れる医師（総合診療医）を養成し、初診の患者は先ず総合診療科で受診し問題のある患者だけを専門医に回すことにより医師の過重労働の抑制を図り、医師不足への対応策にもなっています。

平成21年度から全部適用に移行する市民病院ですが、少ない医師でも運営ができる体制づくりと、医師を含めて全職員が働きやすい環境づくりに努めていただくとことを期待しています。



産業建設委員会

委員長 吉松 京一



産業建設委員会は、去る11月17から、19日の3日間にわたり福島県「喜多方市」と宮城県「名取市」を行政視察訪問しました。

喜多方市は5か町村が合併し平成18年4月に誕生しました。仏教文化が栄え、お寺や蔵の多い街で、全国的には「ラーメンと観光、農業」をうまくかみ合わせ発展しています。

特に農業は、自然の力で浄化された伏流水と肥沃な土地により高品質な米が生産されています。夏秋トマト、キュウリ、ミニトマトの産地化によりブランド作物として出荷され、特にアスパラは、長期どり栽培の確立

により東北一の生産高を誇っています。

また、蔵が多く、地球環境に優しい建物として、年間170万人の集客があり、一方ではグリーンツーリズムや企業参入により農業に力を入れ、地元企業8社が参入し10haソバを中心として力を入れています。

次に、名取市では、企業誘致担当を商工サイドから企画サイドに変更し、市独自で誘致企業の助成制度を制定するなど、積極的に企業誘致に取り組んでいます。

愛島西部工業団地では、職住接近のまちづくりを行っており、現在8社が助成対象となっており、これまでに約1億4千万円を支出しているそうです。

また、不況に強い中小企業をターゲットに、千社ぐらいに独自でアンケート調査を行い、回答のあった企業を訪問するなど誘致活動は活発です。

過疎化に悩む国東市としても雇用の場の確保は喫緊の重要課題であり、早急な取り組みが必要だと強く感じたところであり



議案等議決結果一覧

—12月定例会—

【市長提出議案】

- 専決処分の承認を求めることについて（平成20年度国東市一般会計補正予算 第4号）……………承認
- 平成20年度一般会計補正予算（第5号）……………可決
- 平成20年度特別会計補正予算（6件）……………可決
- いこいの村国東設置及び管理条例の制定について……………可決
- 国東市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の制定について……………可決
- 国東市病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について……………可決
- 国東市民病院事業の設置等に関する条例の全部改正について……………可決
- 国東市民病院使用料及び手数料徴収条例の全部改正について……………可決
- 国東市情報公開条例の一部改正について……………可決
- 国東市個人情報保護条例の一部改正について……………可決
- 国東市税条例の一部改正について……………可決
- 国東市養護老人ホーム条例等の一部改正等について……………可決
- 国東市火葬場条例の一部改正について……………可決
- 国東市都市公園条例の一部改正について……………可決
- 国東市簡易水道事業条例の一部改正について……………可決
- 国東市飲料水供給事業給水条例の一部改正について……………可決
- 国東市農業集落排水施設条例の一部改正について……………可決
- 国東市公共下水道条例の一部改正について……………可決
- 国東市特定環境保全公共下水道条例の一部改正について……………可決
- 国東市立学校設置条例の一部改正について……………可決
- 国東市立幼稚園設置条例の一部改正について……………可決
- 国東市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等について……………可決
- 権利の放棄及び和解について……………可決
- 建設工事委託に関する協定の一部変更について……………可決
- 財産の処分について……………可決
- 国東市国民健康保険条例の一部改正について……………可決
- 人権擁護委員の候補者の推薦について……………適任
- 専決処分の報告について（損害賠償の和解について2件）……………報告

【議員提出議案】

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書……………可決
- 国東市民病院への整形外科医師の派遣を求める決議……………可決
- 現行保育制度の堅持を求める意見書……………可決
- 汚染米の転用問題と外米輸入に関する意見書……………可決

【請願】

- 現行保育制度の堅持を求める請願書……………採択
- 「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米（ミニマムアクセス米）の輸入中止を
求める請願……………採択

—第3回 臨時会（10月）—

【市長提出議案】

- 専決処分の報告（損害賠償の和解）について……………報告
- 平成20年度一般会計補正予算（第3号）……………可決
- 平成20年度国東市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）……………可決
- 国東市サイクリングターミナル条例の一部改正について……………可決
- 工事請負契約の締結について……………可決

議会のつどひ

- 10月27日 議会運営委員会
- 31日 第3回 臨時会
- 産業建設委員会
- 行財政改革調査特別委員会
- 11月4日～6日 文教委員会行政視察
- 12日～14日 厚生委員会行政視察
- 17日～19日 産業建設委員会行政視察
- 12月1日 議会運営委員会
- 8日～19日 第4回 定例会
- 10日 行財政改革調査特別委員会
- 15日 広報編集特別委員会
- 16日 総務委員会
- 産業建設委員会
- 17日 文教委員会
- 厚生委員会
- 24日 行財政改革調査特別委員会
- 1月13日 広報編集特別委員会
- 16日 議会運営委員会
- 行財政改革調査特別委員
- 21日 広報編集特別委員会
- 23日 第1回 臨時会

猪俣俊雄前議長、安見 蔚前副議長に大分県市議会議長会より感謝状が授与されました。



去る12月19日、国東市役所入り口において、議員全員と市長をはじめ市の幹部職員が、飲酒運転根絶の街頭指導を行い、チラシを配布しました。

表紙の説明 社会福祉法人 伊美保育園で
行なわれた地域ふれあい餅つき大会

議会を傍聴しましょう

次回定例会の開催予定は3月上旬の予定です。
議会を傍聴されたい方は、議会事務局までご連絡ください。 電話 (0978) 72-5196

編集後記

平成元年生まれの我が家の長男も今年二十歳を迎えます。当時はベルリンの壁も壊され冷戦の終結、バブル景気と平和で明るい時代でした。その後二十年右肩下がり時代が続き100年に一度のアメリカ発の世界的金融危機そして経済危機。連日マスコミは暗いニュースばかり流し続ける。「楽あれば苦あり」良いこともあれば悪いこともあります。そのどちらも永くは続かない事は歴史が証明しています。

昨年は安岐町の四小学校が閉校、今年国東町の上国崎小学校と四中学校で閉校式が行われます。地域に学校がなくなるのは寂しい事ですが、子育て家庭の地域からの流出が年々増加をしています。こどもたちの教育環境を最優先して保護者の意向を考慮した教育行政が必要ではないでしょうか。

夢と希望の国東市は？

「イエス・ウィ・キャン」

(堤)

- 発行責任者 諸富 忠
- 編集委員長 野田 忠治
- 副委員長 白石 徳明
- 委員 堤 康二郎
- 元永 安行
- 渡邊 俊樹
- 高橋 正之
- 大谷 和義
- 丸小野宣康